

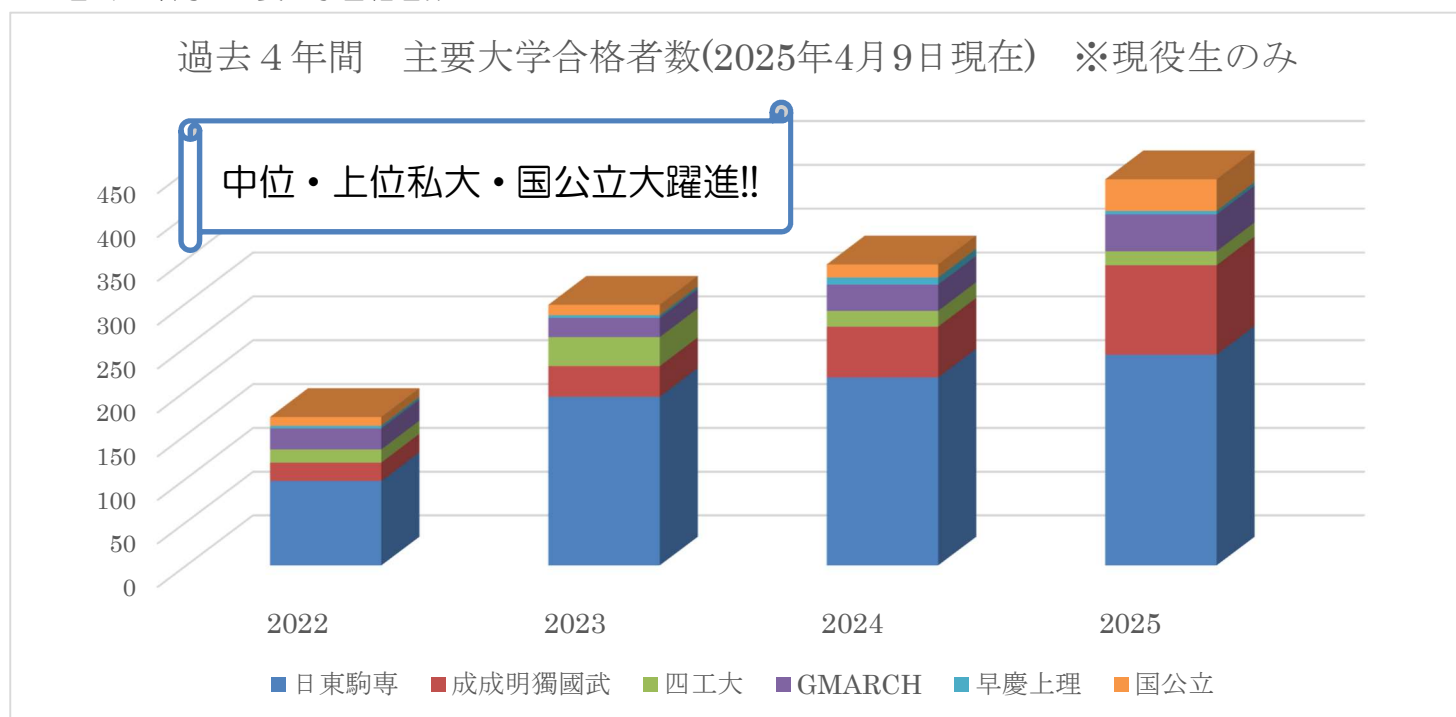
2025 年度 3 学年進路通信 Vol.1

関東第一高等学校
校長 乙幡 和弘
監修 進路指導部
5月7日(水)発行

新学期、そして授業が始まり、3年生の学習ペースには慣れてきたでしょうか。長い春休みもあったので、現在に至るまで自身の進路・将来に向けてしっかりと準備を積み重ねていることを期待したいです。

さて、2025 年度入試を終え、皆さんの先輩達の合格実績が出そろいました。次は皆さんの番です。総合型選抜入試の開始までは約半年、公募制推薦入試までは約7カ月、大学入学共通テストまでは約9カ月、一般選抜までは約10カ月です。「まだ時間はある」「もうこれしか時間がない」捉え方は様々だと思いますが、残された時間は全国の受験生とともに平等です。ですが、時間の使い方は各々が決めることなので、全国のライバルと差をつけられるポイントです。残された時間をどのように使うかによって 2026 年4月1日の未来を自分で決められる、という意識を持って日々尽力しましょう。そして、私たち教員もできる限りのサポートをしていきます。

○過去4年間 主要大学合格者数



※日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修

成成明獨國武：成城・成蹊・明治学院・獨協・國學院・武蔵

四工大：芝浦工業・東京電機・工学院・東京都市

GMARCH：学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政

早慶上理：早稲田・慶應・上智・東京理科

()は卒業生数	日東駒専	成成明獨國武	四工大	GMARCH	早慶上理	国公立
2022(762名)	97名	21名	15名	24名	3名	10名
2023(699名)	193名	35名	33名	22名	3名	12名
2024(575名)	215名	58名	18名	30名	8名	15名
2025(768名)	241名	102名	16名	42名	4名	36名

生徒の頑張りもあり、関東第一高等学校の大学合格実績は年々向上中です。2026 年度卒業生となる皆さんにもこの波に乗っていただき、本校の校訓である「實行」(自らの信念に基づいて、目標に向かってやり通すこと)の精神を礎として、生徒・保護者・教員と三位一体となって生徒の進路実現を叶えていきましょう。

○2025 年度入試コース別主要大学合格実績 ※平均出願件数は未受験校は除く

・特別進学コース(128 名) ※うち専門学校 2 名

一般入試＋共テ平均出願件数：10.5 件 総合型・公募制推薦入試平均出願件数：1.6 件

主な国公立大学：千葉大学、東京学芸大学、東京都立大学、山形大学、福島大学、静岡大学など

・A コース選抜クラス(164 名) ※うち専門学校 9 名、就職 1 名、その他 1 名

一般入試＋共テ平均出願件数：8.5 件 総合型・公募制推薦入試平均出願件数：1.9 件

・A コース(194 名) ※うち専門学校 25 名、就職 2 名

一般入試＋共テ平均出願件数：7.6 件 総合型・公募制推薦入試平均出願件数：1.8 件

・G コース(204 名) ※うち専門学校 60 名、就職 1 名

一般入試＋共テ平均出願件数：6.6 件 総合型・公募制推薦入試平均出願件数：1.4 件

・スポーツコース(78 名) ※うち専門学校 1 名

一般入試＋共テ平均出願件数：7 件 総合型・公募制推薦入試平均出願件数：1.5 件

	日東駒専	成成明獨國武	四工大	GMARCH	早慶上理	国公立
特別進学コース	127 名	58 名	7 名	33 名	2 名	35 名
A 選抜コース	67 名	17 名	2 名	4 名	2 名	1 名
A コース	35 名	12 名	7 名	1 名	0 名	0 名
G コース	2 名	3 名	0 名	0 名	0 名	0 名
スポーツコース	10 名	12 名	0 名	4 名	0 名	0 名

なお、総合型・公募制推薦入試、指定校推薦入試を検討している生徒も一般選抜の生徒と同様、進路が決まるまでは模試の受験、日々の学習を継続していきましょう。2 学年進路通信 Vol.10 に記載したように、昨年度も総合型選抜・公募制推薦を受け続けても合格をもらえず、一般入試まで粘らざるを得ない生徒がいました。推薦入試だから受験勉強はしない、となると不合格が続いた場合、後々自分の首を絞めることになります。常に最悪の状況を想定して受験に臨みましょう。

○主な受験パターン

① 指定校推薦希望(総合型選抜出願)→校内選抜合格→指定校推薦入試→合否

② 指定校推薦希望(総合型選抜出願)→校内選抜不合格→総合型選抜受験→合格

↓ 不合格→公募制推薦入試→合格

↓ 不合格→一般選抜へ

③ 総合型選抜→合否→(不合格の場合)→公募制推薦入試→合否→(不合格の場合)→一般選抜

④ 一般選抜のみ

○総合型選抜・公募制推薦入試を受験予定の生徒へ

大学入試に最初に臨むのは総合型選抜に臨む受験生です。推薦入試には様々な準備が必要です。すでに推薦入試に向けた準備を進めているとは思いますが、改めて必要事項を確認しましょう。

- ・時期は大学によって異なりますが、6月頃から入試要項が公開されます。自身が受験する大学の入試要項がいつ頃公開されるのか、必ず確認しましょう。それまでは、昨年の入試要項をもとに出願条件の確認や志望理由書の作成に取り組みましょう。

- ・評定、英検などの資格、ボランティア経験など、出願条件の確認はできていますか？以下の例のように、同じ大学でも学部学科や入試方式によって異なります。

例：2025 年度駒澤大学経済学部自己推薦入試(総合評価型)→全体の評定 4.0 以上

2025 年度駒澤大学心理学科自己推薦入試(総合評価型)→全体の評定 3.8 以上、英国数の評定 4.0 以上

2025 年度駒澤大学経済学部自己推薦入試(特性評価型)→全体の評定 3.8 以上、英検 2 級等の有資格者

- ・面接ではどのようなことが聞かれるか把握していますか？担任の先生と受験レポートを確認しながら準備をしましょう。以下のように、専門的な分野の質問も問われます。日々のニュースに関心を持ち、志望学科の専門的内容に踏み込んで準備をする必要があります。

例：専修大学マーケティング学科公募制推薦入試の面接内容

- ・TPP や EPA 調印によって日本にどのような影響があるか答えなさい。(2020)
- ・アメリカ大統領選はどうなるか。またその人になったときの影響について述べなさい。(2021)
- ・物価上昇の原因は何か。また、経済政策としてできることを一つ考えなさい。(2023)
- ・アメリカの金利が上昇している中で、円安が日本に与える影響、家計に与える影響は。(2024)

- ・口頭試問の対策はできていますか？普段の学習の成果を問われます。

例：学習院大学生命科学科→原核生物と真核生物の違いは何ですか。

東京都市大学原子力安全工学科→放射線の種類について説明しなさい。

大東文化大学歴史学科→戦国時代は何年から始まり、何の出来事をきっかけに始まったとされていますか。

昭和女子大学日本語日本文学科→鎌倉時代に成立した歌集について知っていることを述べなさい。

- ・志望学科に関連する読書はしていますか？また、メディア関係学科だと映画やメディア媒体について、文芸学科は文学作品について問われることもあります。

例：一般的な質問→最近読んだ本について話してください

駒澤大学法学部→感銘を受けた本について教えてください。

二松学舎大学国文学科→あなたが読んだ本の作者の、他の作品は何を読みましたか。

上智大学→キリスト教に関する本を読んだことがありますか。それを読んで何を学びましたか。

城西国際大学メディア学部→自分が影響を受けた映画や作品を教えてください。

- ・小論文試験の準備を進めていますか？作文と小論文の違いを把握し、どのような流れ・展開で書くのか、何度も様々な問題にあたって書いては添削、を繰り返しましょう。

例：明治学院大学英文学科→人文学を学ぶことのメリット・デメリット（英語での出題・解答）自分の考えを300から500words以内で述べる

武蔵大学経済学科→外国人人材の受入れに関するメリットと課題をあげた上で、今後の受け入れのあり方についてできるだけ具体例や自らの経験を折り込みつつあなたの考えを書きなさい。

- ・筆記試験の準備はできていますか？推薦入試＝学力を問われない入試というわけではありません。

例：法政大学日本文学科→筆記試験「国語」には古文・漢文・小論文を出題範囲に含みます。

成蹊大学経営学部→配布された資料(和文・英文の文章、数値や図表など)を基に筆記試験を行います。

帝京大学教育学部→1科目方式 or 2科目方式

○2026年度大学入学共通テストの主な変更点

2024年度入試から2025年度入試にかけては国語、数学、情報についての変更がありましたが、2026年度入試の大きな変更点は出願手続きの電子化です。従来は高校で共通テストの出願標を集めてまとめて学校単位で出願をしていましたが、全受験生が個人で出願する必要があります。ここで、出願し忘れ、受験料納付忘れ、出願内容のミスなどのハプニングが起こることが想定されます。本校でも説明会を実施予定であり、受験生の皆さんに改めて伝えていきたいと考えています。まずは右記QRコードより、大学入学共通テストの手続き電子化について目を通しておきましょう。

6 今後のスケジュールについて（予定）

○令和7年	6月	上旬	大学入学共通テスト実施要項の公表
	6月	中旬	受験案内・受験上の配慮案内の公表
	6月	下旬	高校専用サイトのアカウント情報等の送付 高等学校関係者向け説明会（説明協議会）の開催
	7月	1日～	マイページ作成開始
	9月	16日～	出願開始

（独立行政法人大学入試センターHPより引用）



今年度の進路指導部の体制は、進路指導部長寺島を中心とし、新たに国語科の教員を増員し、小論文指導等もさらに充実させていきます。進路指導部主任の舟木をはじめ、^{おおぼし}戌法師、小澤、佐藤、岸田と国語科の教員が5名もいます。これまで関わったことの無い教員であったとしても、添削指導によって新たな視点を得られるので、担任とのやり取りを基本としながらも、様々な国語科教員を頼ってみてください。他に須郷(就職担当)、遠藤(AIを用いた面接指導アプリ等各種システム作成・提供)、和田(進路通信作成、併願プラン提供)、新たに他校での教員経験がある神内、^{ともやす}友保というメンバーで皆さんを支えていきます。よろしくお願いいたします。